

株式会社 松本コンサルタント
会社案内

Corporate Profile

株式会社 松本コンサルタント
本社
〒770-0811
徳島県徳島市東吉野町二丁目24番地6
tel 088-626-0788 fax 088-622-1768



100年先に、誇れる仕事を。



明治時代、当時の英知と多大な人力を投入して作られた公園が、
今もなお現代に文化遺産として存在するように、
私たちも100年先に誇れる価値を生み出せるよう、
今後とも日々努力を重ねながら、
さらなる進化を遂げたいと願っています。

社長からのメッセージ



代表取締役
松本 祐一

株式会社松本コンサルタントは昭和46年に創業し、以来多くの方々のご支援ご協力と、社員の誠実でひたむきな努力に支えられて成長してまいりました。

公共事業を取り巻く環境は時代と共に変化していますが、近年では災害復興の観点から、弊社が創業以来注力してきた地籍調査の重要性が増してきております。そうした状況の中で、これまで培ってきた弊社の技術を益々社会に役立てることができるのではないかと考えております。

今後も日々進歩する新技術を進取の精神で取り入れ、業務内容・営業エリアの拡大と顧客満足を目指してまいります。

弊社はこれまで確かな技術力で信頼をいただけてきました。それを支えるものは社員一人ひとりの人間力であることに重きをおき、まずは社会人としての基本を大切に、当たり前なことを当たり前でできる人財育成、顧客から認めていただき信頼される社員教育を行っております。

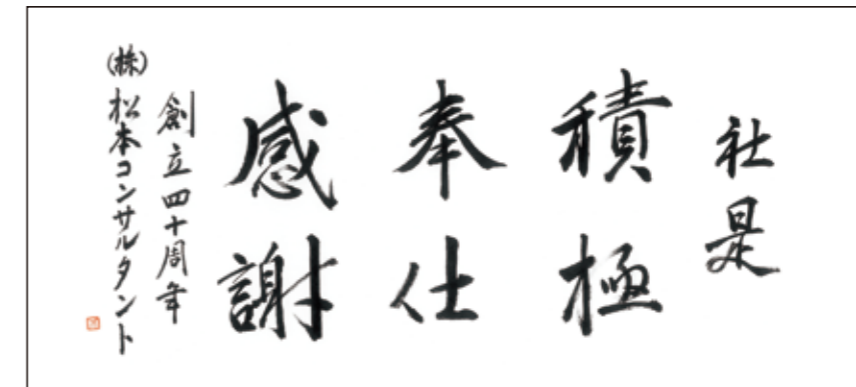
現在の社員数は約200名。毎年新入社員を迎え、社内にフレッシュな空気をもたらしてくれることを嬉しく思っております。これから我々の仲間となっていただく意欲に満ちた皆様にも、顧客に信頼していただける社員、確かな技術力を持つ技術者となり大きな力を発揮していただきたいと期待しております。

企業紹介

松本コンサルタントは創業以来45年以上にわたり、地籍調査を中心に取り組み、数多くのノウハウと実績を築いてきました。

現在では空間情報コンサルタントとして、地籍調査をはじめ、一般測量・調査、道路や河川、橋梁の設計、GISデータ構築、システム開発まで業務を拡大し、全国有数の実力を持つ企業と認知されています。

これからも、日々変化する社会環境に対応し、社会に貢献できる企業として、「100年先に誇れる仕事」を目指して成長していきます。



経営理念

松本コンサルタントの社員は、「土木・農業土木の調査・測量・設計及び補償コンサルタント並びにGIS」に関するすべての業務に対処する事により顧客のニーズに応え、顧客の満足と信頼を得る事で社会に貢献し社業の永続繁栄と社員の生活を守る。

それが為、社是・信条を基として次の事を守ります。

- 一. 責任感
全従業員は振り掛る全ての仕事を「ありがとうございました」と正面から受け、全身全霊で働きます。
- 一. 利潤性
利益無き繁栄はないと常に顧客のニーズに応え、顧客の満足を得られるよう、迅速・丁寧の良い成果を納めます。
- 一. 公共性
個人の繁栄は会社の栄。会社の栄は国の栄。税金を沢山払える会社を作り永続的企業繁栄につくします。
- 一. 人間性
社員は常に明るく、朗らかな家庭作りに努め安心して仕事に専念いたします。
- 一. 倫理性
大自然の流れに逆らわず、経営方針に従って、「和して同ぜず」互譲互敬の精神で努めます。

キャリア形成

空間情報コンサルタント会社にとって、人材は財産です。
会社とともに成長し続ける「人財」育成に努めています。

新入社員研修

入社後1ヶ月間は新入社員研修期間となります。

会社の概要や各部門の業務についての専門的な知識、社会人として必要となる基本的なマナーや基礎力を身に付けてもらいます。

さらに、実際の現場作業を体験することでより業務に対する理解を深めることができます。



資格取得支援

建設コンサルタントでは、資格の種類や取得者数が業務の受注件数や規模に影響するため、社員は自分のキャリアに応じた資格の取得に積極的に挑戦しています。

当社では、社員の資格取得をサポートするため、以下のような支援を行っています。

資格取得のための個別相談

常時、資格取得に関する相談を受け付けています。受験資格や試験内容等の資料の提供も行っています。

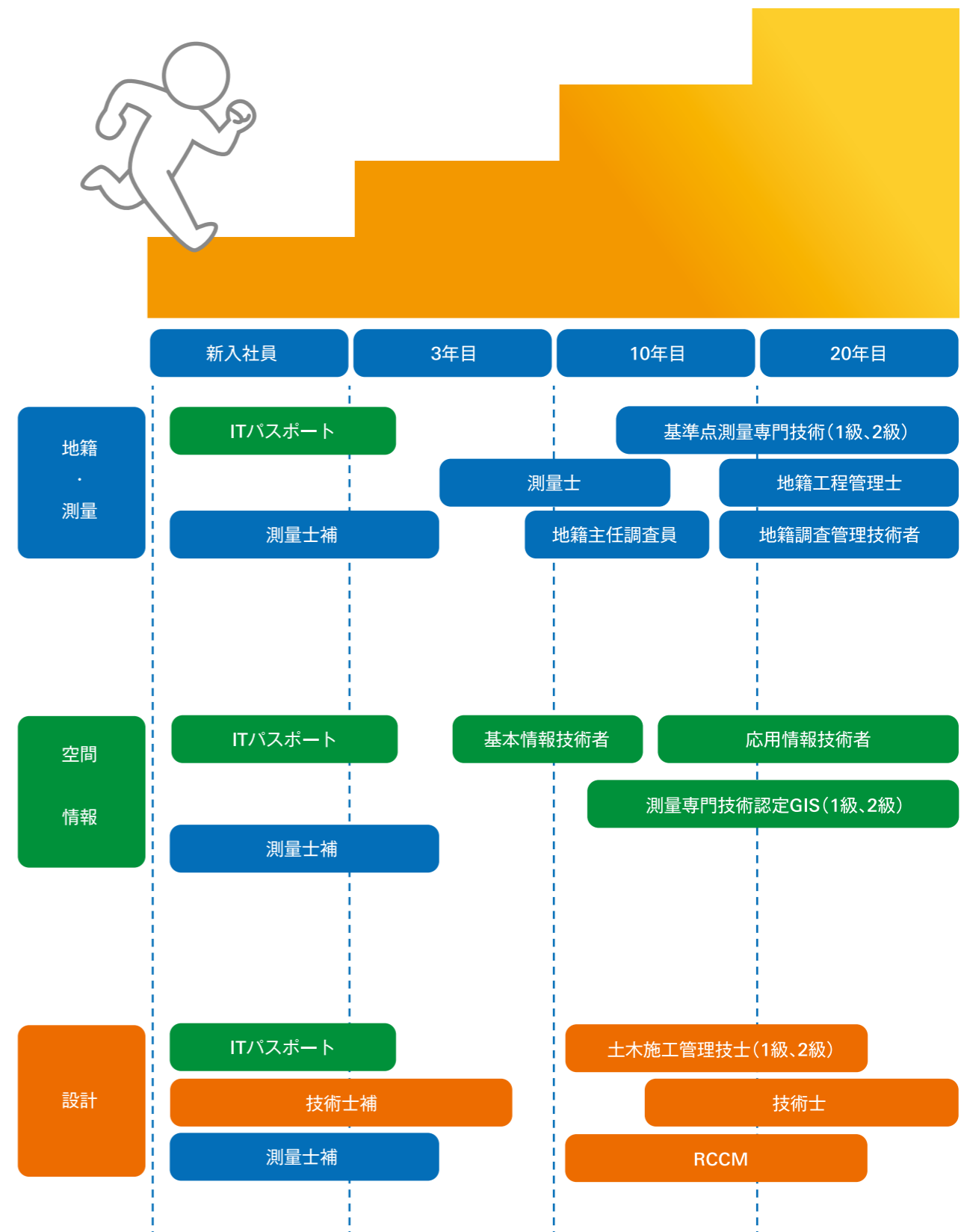
社内勉強会、研修会の企画・実施

社員の技術力向上や資格取得に向けた社内勉強会の実施、社内・外の専門家による研修会の企画・開催を行っています(地籍調査研修、技術士・RCCM勉強会等)。

資格手当・合格祝い金の支給

会社指定の資格保持者には毎月資格手当を支給し、資格取得時にはお祝い金も支給しています。

資格取得ステップアップチャート



国土調査部では、国土調査法に基づく地籍調査を実施しています。

地籍調査とは、地籍図の作成を目的として、土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積に関する測量を行うことです。「地籍」とは、いわば「土地に関する戸籍」のことで、各個人には固有の「戸籍」という情報があり、行政の様々な場面で活用されているのと同様に、土地についても「地籍」の情報が行政の様々な場面で活用されています。

地籍調査を行うと……

1. 土地にかかるトラブルの未然防止に役立つ

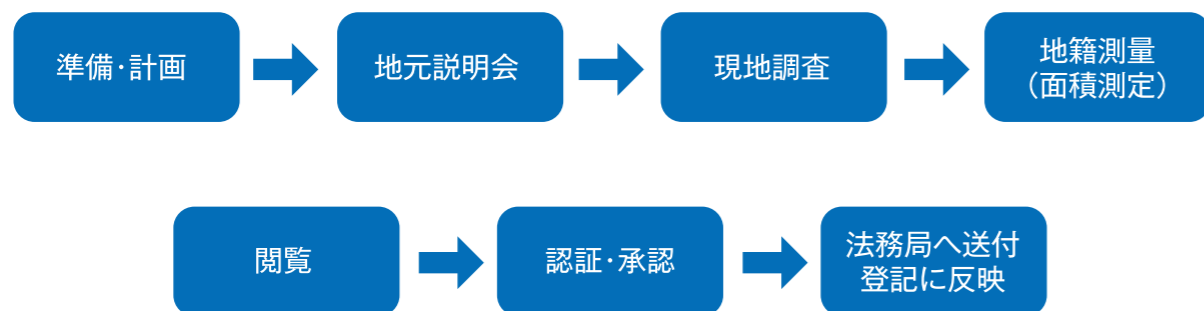
地籍調査を行うことで、土地の境界が今まで以上に明確になり、安心して土地の売買や相続ができるようになります。

2. 災害の復旧に役立つ

地震や水害などの災害が発生してしまった場合、元の土地の境界が分からないために復旧に時間がかかることがあります。地籍調査を行っていると、土地の境界を元の通りに復元できるため、緊急を要する復旧事業を、円滑に進めることができます。

3. まちづくりに役立つ

地籍調査の成果があると、当初から地籍の状況を踏まえた計画立案やスムーズな境界確認作業ができるため、公共工事も含め将来のまちづくりが円滑に進みます。



国土調査部

山西 恭平(勤続9年)

高知工科大学 工学部 社会システム工学科卒

山西さんの一日

7:30 出社&現場作業の準備

7:40 現場に移動

8:30 現場にて測量、または地権者の方の立会のもと一筆地調査

12:00 お昼休憩

13:00 現場にて測量、または地権者の方の立会のもと一筆地調査

17:30 帰社後、観測データの整理

18:30 退社

■どのような業務を行っていますか？

地籍図作成のために土地の境界の測量をしています。現在、多くの地図は明治時代に作られた公図が基になっていますが、現状の土地の状況と異なっていることもあるため、市町村が定めた地区ごとに地籍調査を行い、地籍図を作っています。

■これまで業務を行ってきた中でどのようなやりがいを感じましたか？

自分が行った調査・測量によって公の地図ができることです。出来上がった地図は土地の公平な評価や公共事業の推進、災害時の土地の境界確認など、様々な面で活用されます。そのためこの仕事は公共性が高く、社会貢献を実感できます。

■なぜ松本コンサルタントに入社しようと思ったのですか？

一番大きな理由は地元徳島の会社だからです。県外の大学に進学していましたが、地元で就職するつもりでした。卒業時に測量士補の資格を取得できたこともあり、それを活かせる会社に就職したいと思いました。

■入社前と入社後で松本コンサルタントに対するイメージに変化はありましたか？

入社する前は地方の測量をしている中小企業の一つだろう、と思っていました。ところが入社してみると、特に地籍調査の分野において全国トップクラスのノウハウと人材を持った会社であったことに驚きました。

■最後に就活生へ、メッセージをお願いします。

就職活動を始めるときの第一歩は、「自分のやりたいことは何か」を明確にする事だと思います。社会人と比べると、学生はそれをじっくり考える時間や機会があるので、様々なことに興味を持ち、自分のやりたいことを見つけてください。

調査部

調査部では、公共事業の道路・河川測量や流量観測、交通量調査、補償業務などを行っています。測量とは、現在の現地状況を図面化・数値化(データ化)することです。作成された図面や数値データは、設計や地図の基礎になるため正確性が求められます。

地籍調査で培った高い技術を活かし、測量のスペシャリスト集団としての実力を多様なフィールドで発揮しています。

路線測量

道路、河川や水路の建設のために行う、計画・設計の基になる測量です。路線の中心線の決定および測量、標高を定める測量、縦横断面図を作成するための測量などがあります。



交通量調査

機械や人手によるカウントによって、道路の交通量及び道路現状などを調査します。道路の建設、計画、維持修繕など様々な目的のための基礎資料を作成します。



主な測量業務

基準点測量 水準測量 地形測量
路線測量 河川測量 用地測量

流量観測

平常時や渇水時、台風の際に川底の地形や流量を計測して記録しています。長年にわたって観測し、積み上げてきたデータはダムや堤防の設計資料になります。



家屋の補償調査

公共事業を行う際には、土地の取得や建物の移転に伴う費用の補償が必要になります。土地・家屋の調査や、地域住民への意向調査などをすることで、用地確保のサポートをしています。



主な調査業務

流量観測 補償業務
配水管路調査・戸番図調査等
給水装置設計及び調査
交通量調査 道路、河川台帳



調査部

吉本 哲也(勤続23年)

近畿測量専門学校 測量専門学科卒

吉本さんの一日

- 7:40 出社&連絡事項の確認
- 8:00 朝礼
- 8:15 作業現場に出発
- 9:00 現場で調査・測量作業、または流量観測
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 現場で調査・測量作業、または流量観測
- 16:30 観測データの取りまとめ
- 18:30 退社

■どのような業務を行っていますか？

基準点測量や流量観測をはじめとした様々な測量・調査業務を行っています。流量観測では、定期的に河川の水位や流速を測定し、その河川の流量をデータ化しています。このデータは、堤防の改修計画などで用いられる資料として活かされます。

■これまで業務を行ってきた中でどのようなやりがいを感じましたか？

地震予測のために地殻変動を把握する測量(水準測量)は作業区間が約100kmにわたり、成果には高い精度が求められる測量になります。現地作業が無事に終わり、観測データをまとめて、完成図を見たときは強い達成感を感じました。

■では、大変だったこと、苦労したことはありますか？

平成16年は台風が多く発生し、計7回の高水流量観測の内、洪水が4回発生しました。複数の観測地点の氾濫状況調査に大勢の人と時間を要したので、スケジュールや安全管理などのマネジメントに苦労しました。

■働く中で会社にどのようなイメージをもっていますか？

きちりしている会社だと思います。測量会社の中でも成果物の精度は非常に高いと感じます。実際に国や地方自治体から、業務の表彰も多く頂いています。真面目に業務に取り組む姿勢が、お客様の信頼にもつながっていると感じます。

■最後に就活生へ、メッセージをお願いします。

当社は、新しい技術に取り組み、発展しています。また、活力朝礼や社内研修等で人材育成にも力を入れているため、技術力を身につけるだけでなく、自身の人間力を高めることができる会社です。会社を選ぶときは、業務内容も大切ですが、社風を見ずっと働き続けられる企業を見つけてください。

空間情報部(GIS情報課)

GIS情報課では、地籍データを基図として様々な空間情報を地図データにし、行政による住民サービス向上のサポートをしています。多様なGISを活用してデータ構築・更新を行い、活きた地図を作っています。

GIS(地理情報システム)とは、土地・建物・道路等の図形データと文字や数字、画像等の属性データを用いて、位置や場所などの情報の統合・分析・視覚化ができるシステムのことです。

地図データの作成

行政機関で利用する地図データを作成する際、古地図や古い台帳を参考に、パソコンを利用してデータを作成します。顧客との綿密な協議や現地調査を行い、精度が高く、使いやすい地図情報を構築します。



現地調査等による情報収集 収集情報の分析・データ構築

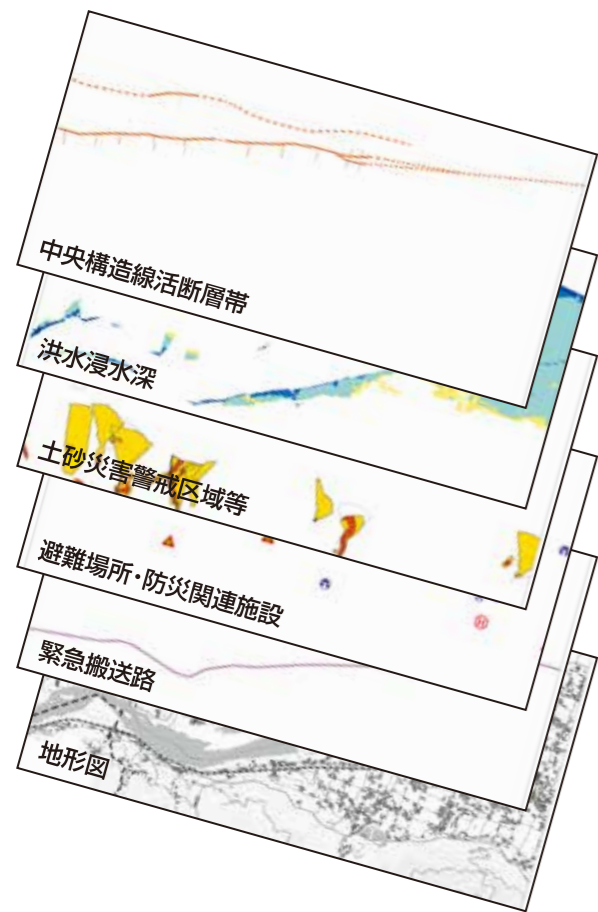
地図データの経年変化更新

地図データは作成すれば終わりではありません。地形の変化や土地・建物の売買等に合わせた地図データの更新を行うことが重要です。納品後も、継続して顧客の地図データをメンテナンスし、最新の情報を維持管理しています。

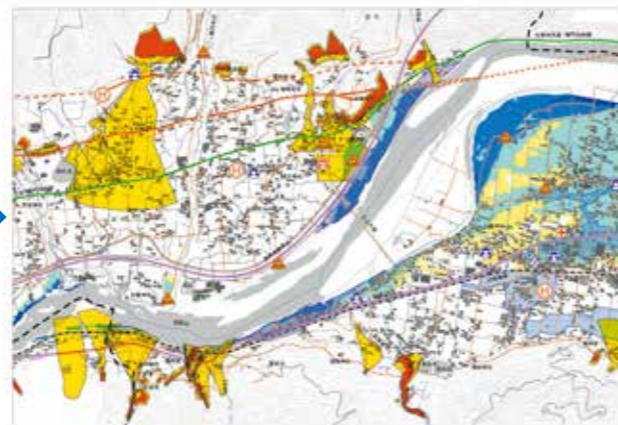


土地の売買が発生

地図データの経年更新を定期的実施



ハザードマップの作成



様々な地図情報を重ね合わせる



空間情報部

枝川 恵理(勤続3年)

徳島大学 総合科学部 社会創生学科卒

枝川さんの一日

- 8:00 朝礼
- 8:15 課内会議
進捗・作業内容の確認
- 9:00 空き家意向調査業務
アンケート準備補助
- 11:00 協議会の資料準備
事前打ち合わせ
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 上司とハザードマップの協議会に参加
- 16:00 協議内容の文字起こし
- 18:30 退社

■どのような業務を行っていますか？

自社システムを活用した森林の境界や地番の明確化を行っています。また、近年空き家が増えてきている自治体の空き家対策計画に用いる、空き家所有者へのアンケートの作成(空き家意向調査)にも携わっています。

■なぜ松本コンサルタントに入社しようと思ったのですか？

大学在学中にGISの研究室に所属していて、社会人になってからもGISに関わる仕事をしたいと思っていました。大学3年生の時に参加した学会で、松本コンサルタントの社員の方のお話を聞く機会があり、その時に徳島にもGISを使っている会社があることを知りました。研究室で学んだ知識を活かして、地元徳島に貢献できたらいいなという思いから、松本コンサルタントに入社することを決めました。

■これまで業務を行ってきた中でどのようなやりがいを感じましたか？

一番印象に残っていることは、「空き家対策計画策定業務」におけるアンケート作成で、私の考えた案が採用されたことです。これは空き家所有者の意向調査のためのアンケートで、自治体が計画を策定する際の参考資料になります。アンケートの作成は、どのような質問をすれば効果的なのかを文献などで知識をつけたり、ほかの自治体のアンケートを参考にしたりと、悩みながらの作業となりました。しかし、打ち合わせの際に、自治体の方の「いいですね」という声を直接聞くことができ、大きな達成感を得ることができました。

■入社前と入社後で松本コンサルタントに対するイメージは変わりましたか？

「真面目でしっかりしている」という印象は変わりません。朝礼や交通安全の講習など、業務以外の部分にも会社として力を入れていて、技術面だけでなく人間力も成長させてくれる会社だと感じています。

■最後に就活生へ、メッセージをお願いします。

私が就職活動を通して感じたことは、企業の方に一緒に働きたいと思っていただくことが大切だということです。「これだけは誰にも負けない!」という自分の長所をしっかりとアピールしてください。

空間情報部(システム開発課)

システム開発課では、自治体が行う行政サービスの効率化・正確化・高度化を図るための地理情報システムを開発しています。地籍調査の成果をベースに情報機器と人とが互いに役割分担をしながら、簡単で使いやすく、使われ続けるシステム構築を目指しています。

無理・無駄のないプランを自治体と共に考えながら、地域の実情に応じてカスタマイズする『オーダーメイド』の発想でシステムを構築しています。

地籍調査支援システム(MCASS)

顧客や当社が実施する地籍調査事業を支援するシステムです。事業では膨大な資料整理や測量データを管理・計算することが必要となります。効率的かつ高精度に成果が作成できるシステムを構築しています。



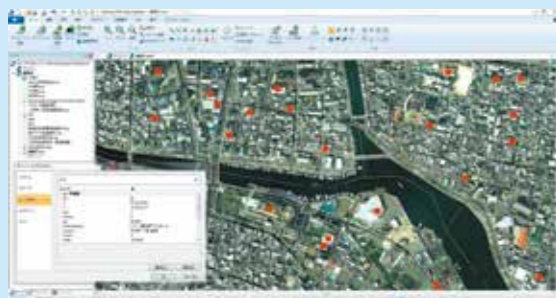
地籍調査管理システム(MSYS)

地籍調査の完了と共に、作成された測量成果(地図情報)は毎年蓄積されます。蓄積された地図情報を本システムで一元管理すると共に、経年変化更新を行うことで、常に最新の地図情報を管理することができます。



統合型GIS

統合型GISは顧客となる地方自治体等において、地図情報や地図システムが部署間で重複管理されないよう、庁内一元的に管理・運用を行う地図システムです。地籍調査情報だけでなく、道路や農林業、防災や福祉支援情報まで多くの情報をまとめて管理し、部署間で効率良く運用を行います。



その他業務支援地図システム

地方自治体等における行政事務を効率化し、精度の高い住民サービスに繋げる地図システムを開発しています。行政情報のうち、道路や農地、森林や財産管理、また福祉関係等の専門性の高い情報と地図システムを連携させる仕組み作りをしています。



空間情報部

竹上 昂輝(勤続9年)

高知大学 理学部 数理情報科学科卒

竹上さんの一日

- 8:00 朝礼
- 8:15 課内会議
進捗の確認
- 9:00 コーディング
(ソフトの開発作業)
または、お客様のところに
訪問、サポート
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 コーディング
(ソフトの開発作業)
または、お客様のところに
訪問、サポート
- 16:00 訪問記録簿作成
- 17:00 作業のとりまとめ
翌日の作業確認
- 17:30 終礼・退社

■どのような業務を行っていますか？

会社のメイン業務である地籍調査を支援するシステムを開発しています。現場作業や帰ってきてからの事務作業を効率よく行うためのシステムで、このシステムは社内だけに限らず、自治体などにも導入していただいています。それに加えて、システム導入後のサポートも行っています。

■なぜ松本コンサルタントに入社しようと思ったのですか？

大学でプログラムやGISの勉強をしていて、将来関連のある仕事がしたいと考えていました。また、県外の大学に進学していましたが、地元徳島で就職したいという思いがあり、徳島に密着した企業である松本コンサルタントに強い興味を持ちました。

■これまで業務を行ってきた中でどのようなやりがいを 感じましたか？

電話や訪問した時に、自分が作成したシステムを使っているのを目で見て、直接お客様に「使いやすい」、「ありがとう」などの言葉をかけてもらえた時です。他にも自社システムの個別カスタマイズがお客様に喜んでいただけたときに、やりがいを感じます。

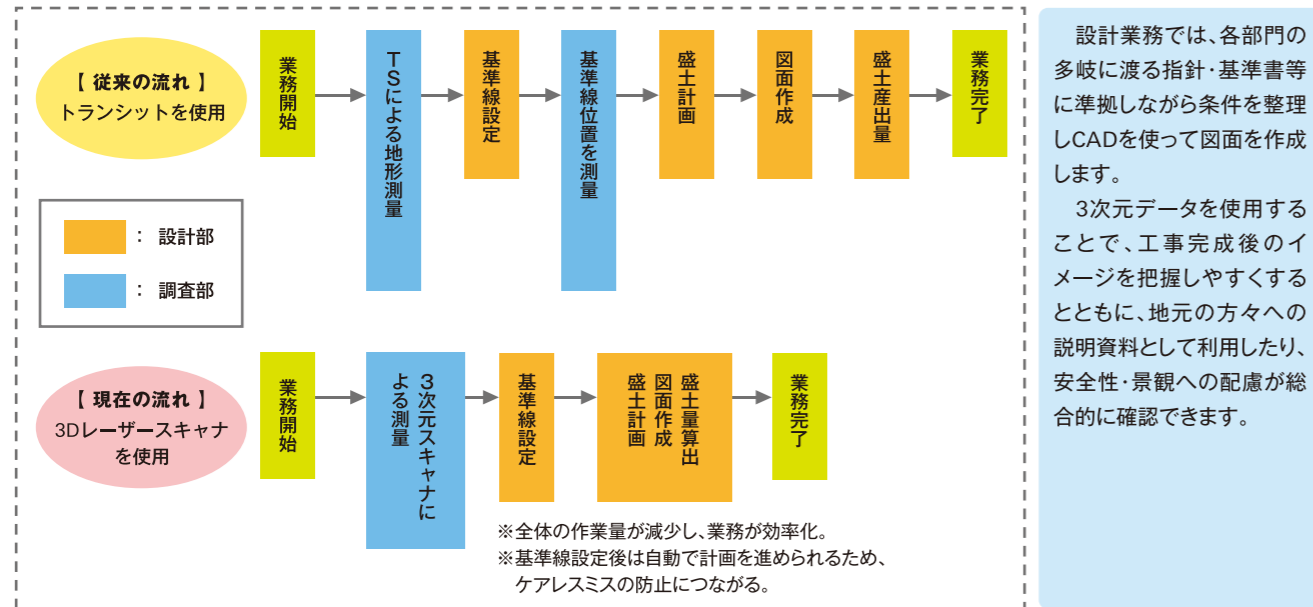
■では、大変だったこと、苦労したことはありますか？

業務を行うには、システム関連の継続的な勉強だけではなく、地籍調査などの専門的な知識も必要になることです。わからないことは周りの人に積極的に質問し、知識を増やしていきました。

■最後に就活生へ、メッセージをお願いします。

いろんな分野の企業を志望する方もいますが、自分が仕事として何をしたいかということをしっかり和明確にした上で就活をすることで、後悔のない就職ができると思います。

設計部では、建設プロジェクトの実現に重要な役割を担う知識集団として、主に公共事業における道路部門、河川・砂防部門、鋼構造及びコンクリート部門、都市及び地方計画部門のコンサルタント業務を行っています。コンサルタント業務は、全て基準や規格に従って論理的に作業を進めていきます。しかし、基準や規格で判断できない場合は、科学的根拠に基づく合理的判断を行いながら、その都度的確な調査・計画・設計を手がけています。近年では、3次元レーザースキャナやUAV(ドローン)を使った測量により、容易に3次元データを取得することができるため、高精度かつ迅速な検討を行うことが可能となりました。測量を行う調査部と連携し、新しい測量データをもとに設計業務を行うケースが増えています。



【設計事例】

山間部に木材置場を作るため、段々畑である場所に大規模な盛土を設計する。

①3次元スキャナによる測量 (現況点群データ)

計測そのままのデータで表示した状態

不要点を取り除ききれいにした状態

②基準線設定 (計画の基本となる位置を決める)

PC内で基準線を設定

基準線と合成して3次元地形モデルを作成

上から見た3次元地形モデル

③盛土計画・図面作成・盛土量算出 (自動で作成ができる)

指定した位置で自動作成した盛土計画に用いる図面

盛土計画を合成(盛土量自動算出)

盛土計画を合成(盛土量自動算出)

コンサルタント部門
河川、砂防及び海岸・海洋部門、道路部門、下水道部門、上水道及び工業用水道部門
農業土木部門、施工計画部門
都市計画及び地方計画部門、地質部門、土質及び基礎部門、鋼構造及びコンクリート部門
施工設備及び積算部門



設計部

松尾 征紀(勤続1年)

徳島大学 工学部 建設工学科卒

松尾さんの一日

- 8:00 朝礼
- 8:15 メールのチェック&お客様との協議準備
- 10:00 お客様と協議
- 12:00 お昼休憩
- 13:00 協議結果を整理し、報告後、課題や問題点の抽出
- 14:00 図面や報告書の作成
- 18:30 退社

■どのような業務を行っていますか？

社会資本整備の工事を行う際の設計図面や数量を取りまとめた成果品を作成することが主な仕事となります。設計業務は、CAD等で図面を作成することだけではなく、実際に現地を確認したり、発注者と協議を行ったりと、すべきことが幅広い業務です。成果品については、一つひとつ確認を行い、ミスがない成果品を作成することが求められます。

■なぜ松本コンサルタントに入社しようと思ったのですか？

建設工学科を卒業し、土木関係で自分の学んだことを生かせる仕事に就きたいと考えていました。就職説明会の際に、測量・設計業務のやりがいに合わせて、人間力・技術力の向上に力を入れていることを聞いて、この会社で働きたいと感じました。また、新しいことに挑戦している姿勢や、まだ他社がしていないことを先手で行っていることに魅力を感じたのも理由の一つです。

■これまで業務を行ってきた中でどのようなやりがいを感じましたか？

現在、私が携わっている道路補修業務では、まず、舗装の変状・周辺環境・交通状況等を実際に現地を確認を行います。この結果を基に、舗装の補修範囲や補修工法を発注者との打合せ協議の中で決めていきます。決まり次第、現地踏査結果・補修工法の検討書・設計図面・数量計算書などを取りまとめて成果報告書を作成します。図面や数量計算書には、誤字脱字・計算ミスがないかを確認し、ミスのない成果品を作成することが求められましたが、責任感を持って丁寧に行っていました。そのように自分が関わった現場で、工事が進められたり、工事完了後も使用されていたりすると、仕事のやりがいや今後の意欲が生まれます。

■最後に就活生へ、メッセージをお願いします。

人によって働き方に対する考え方は異なると思います。私の場合、やりがいや人間力の向上を重視して会社を選んでいました。今後長い社会人生をどうやって過ごしていきたいか、様々な職種の人や周りの人の声をよく聞いて考えることが大事だと思います。就職した際に納得できるよう、充実した就職活動をしてほしいと思います。

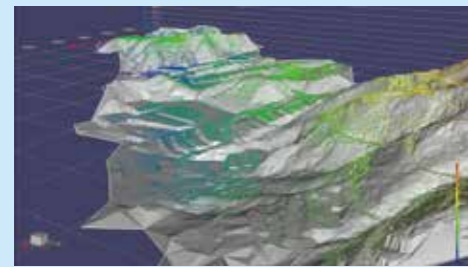
UAV(ドローン)

当社では、現地調査や災害復旧事業などにUAV(ドローン)を活用しています。UAV(ドローン)を活用することで、災害現場や人が近づくことが危険な場所の計測が可能となり、従来よりも短時間かつ安全に作業を行うことができます。

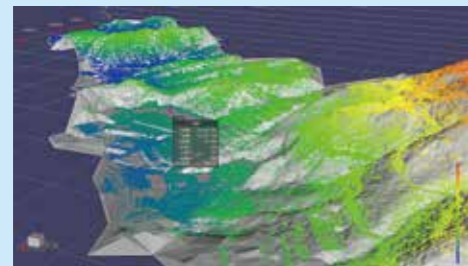
また、ドローンによって、決まった位置からしか確認できなかった対象物を様々な視点から捉えることが可能となりました。旧来の方法よりも幅広く調査対象地域の状況を把握することができ、測量・調査・解析の精度の向上にも繋がっています。



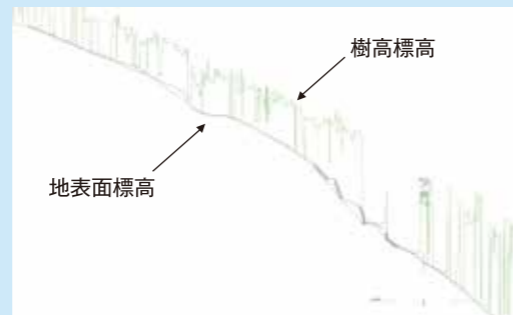
2020年3月にはレーザースカナー搭載のUAV及び関連ソフトを導入しました。これにより業務への活用の幅が大きく広がりました。例えば、山間部において、上空から樹高標高と地表面標高を計測することにより、単木情報や材積推定等の森林資源量を把握することができます。今後も新技術の積極的な活用を図り、高精度でより表現豊かな計測技術確立した空間情報コンサルタントを目指します。



地表面標高



樹高標高

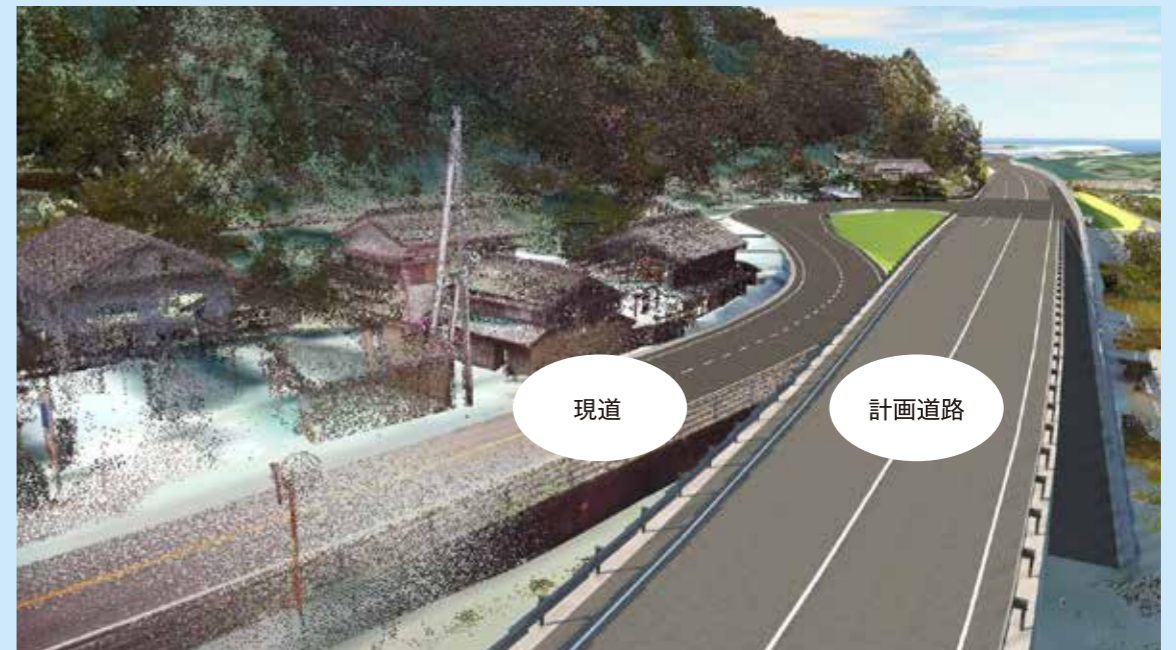
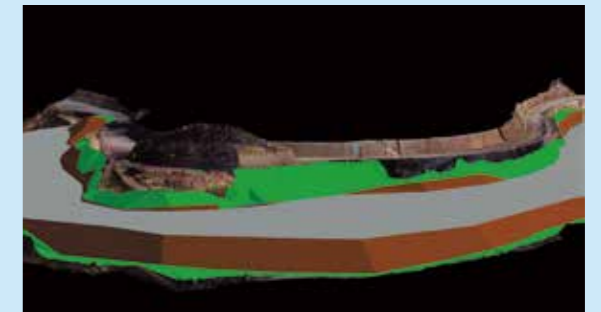
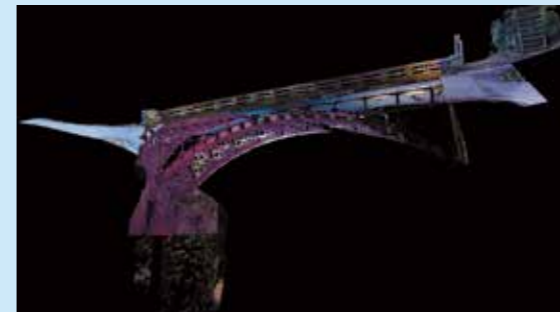


地上型3次元レーザースキャナ

地上型3次元レーザースキャナは、スキャナからレーザー波を照射することにより、非接触で3次元の位置情報を計測することができる機器です。

現場を丸ごと計測することで、縦・横断面に限らず、あらゆる角度の断面データを取得することができます。

また、人が立ち入れないような橋梁の下面や急傾斜地などでも、離れた場所からデータを取得できるため、作業の安全性が向上します。



取得した3次元の位置情報に設計図面の情報を反映させることにより、構造物の3次元モデル化が可能となります。3次元モデルを用いることで鮮明なイメージを伝えることができ、地元説明会などでは円滑な合意形成に役立っています。



4月 入社式

新入社員の皆さんの入社式です。希望、緊張、様々な気持ちを抱きながら入社してくる新たな仲間を温かく歓迎します。

5月 経営方針発表会

全社員が集まり、経営方針発表会を行います。社長を始め、各課のリーダーが今期の目標を発表し、全員が一丸となって目的達成を決意する1日です。



10月 内定証書授与式

内定証書の授与や懇親会を行います。入社前から先輩社員や他の内定者と交流を深めることができ、入社意識を高めることにも繋がります。



12月 ボウリング大会・忘年会

1年を締めくくるビッグイベントです。普段顔を合わせる機会の少ない他支店の社員と会うことのできる貴重な1日です。



台湾



北海道

社員旅行

2~3年に1度、社員旅行があります。いくつかの候補地から自分の行きたい場所を選べるようになっており、グアム、台湾、沖縄など、さまざまな場所に行っています。



ハワイ

両立支援

中国・四国地方初!!プラチナくるみん認定

平成27年10月、中国・四国地方で初めてプラチナくるみんの認定を受けました。プラチナくるみんとは、厚生労働省により平成27年4月に創設された制度で、「子育てサポート企業」として高い水準の家庭と仕事の両立支援の取り組みを行った企業が認定されます。

当社では、女性社員はもちろん、男性社員の育児休業取得や、週1回の「ノー残業デー」の積極的な実施、残業時間の削減に力を入れています。



男性の育児休業取得

6年連続取得率

9年間で25名が取得

「ノー残業デー」の実施

実施日定時退社率

100%



育児休業取得者の声

長期で職を離れるということもあり、職場復帰に不安を感じたこともありましたが、休業中も会社の状況が分かるよう資料を送ってくれたおかげで、安心して育児に専念することができました。

復帰後には子供の体調不良等で休むこともありましたが、同僚や上司が仕事をカバーしてくれたことで、仕事と育児の両立ができました。

(空間情報部 女性)

当初は、出産予定日が業務繁忙期という事もあり、取得に前向きではありませんでしたが、会社が男性の育児休業を支援しており、周囲の協力もあって育児休業を取得しました。

家族にも喜ばれ、業務においても課員との絆が強まり、復帰後、より一層仕事に励むことが出来ました。

(国土調査部 男性)

社会貢献活動

アドプトプログラム(平成11年度～)

河川清掃活動アドプトプログラムに参加し、年4回、吉野川河川敷の対象区間600mの清掃活動を行っています。



とくしま農村漁村(ふるさと)応援し隊事業(平成25年度～)

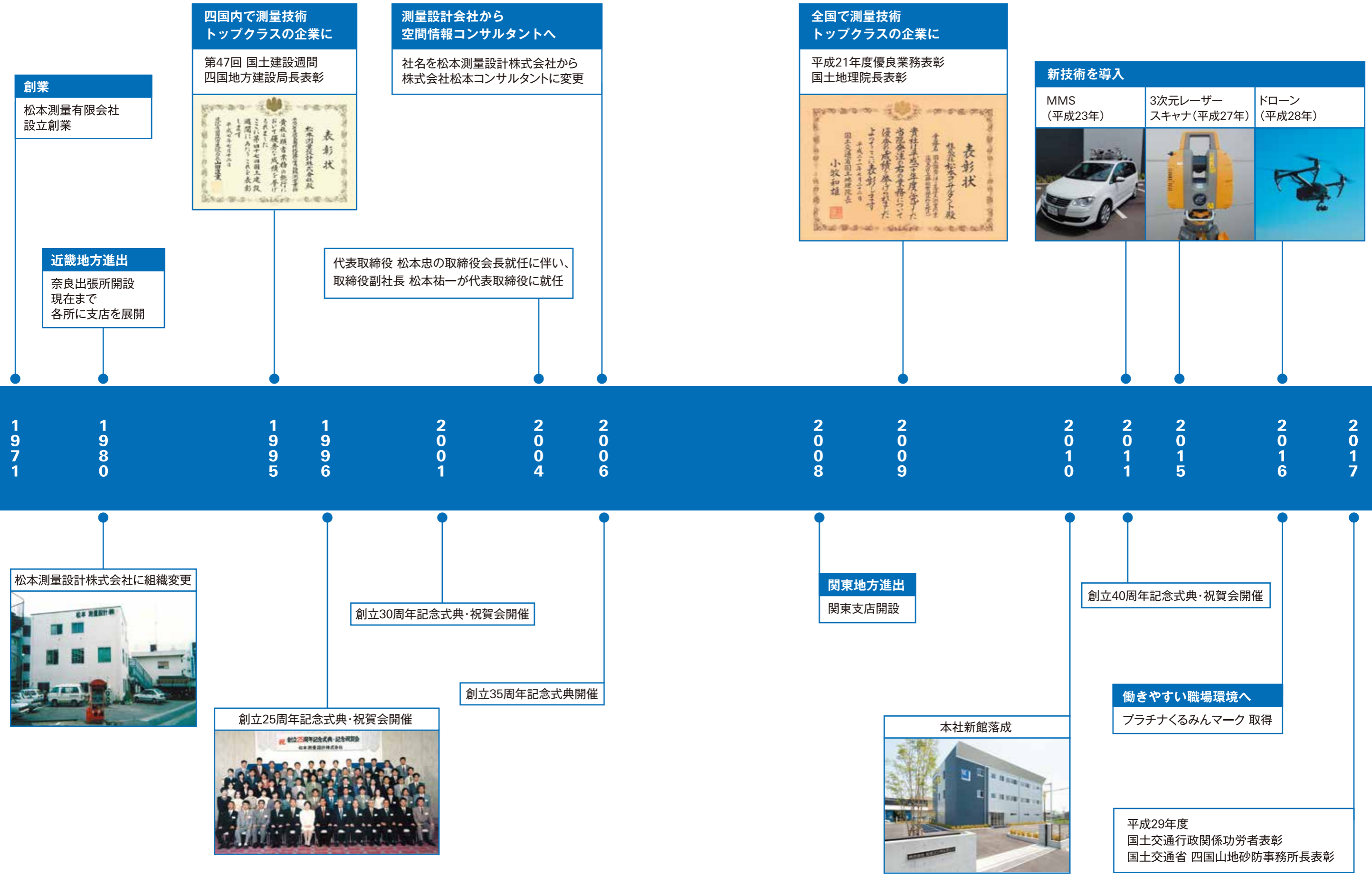
徳島県が実施する「とくしま農山漁村(ふるさと)応援し隊事業」は、農山漁村の地域住民の方と協働で活動することで、地域活力を呼び起こし、農山漁村の保全・活性化を推進することを目的としています。地域の活性化のお手伝いをしながら、その地域の文化や伝統に触れる、非常に貴重な体験をさせていただいています。



その他の社会貢献活動

とくしま協働の森づくり事業
新町川におけるネーミング・ライツ
徳島市ネーミング・ライツ(さくらホール)
ボランティア・サポート・プログラム
徳島県OURロードアドプト事業
太陽光発電の導入
530(ゴミゼロ)の日 小松海岸清掃活動
都祁高原マラソン実行委員会参加
香北町花の里づくり事業
クリーン缶トリー運動 in 岩出 など

これからも地域貢献の一環として、積極的に活動に参加していきます。



事業所

徳島県内の事業所

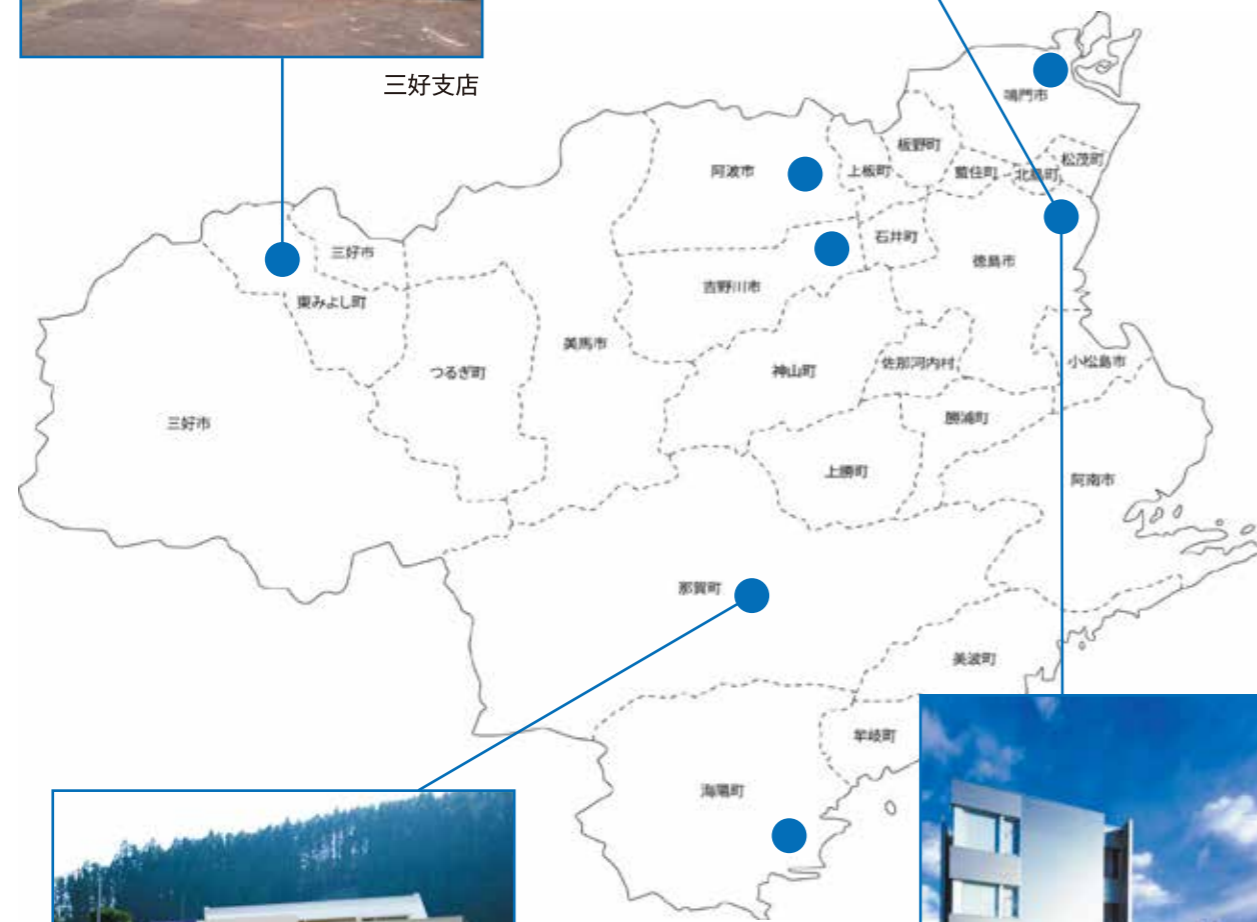
- 本社(徳島県徳島市東吉野町二丁目24番地6)
- 鳴門支店(徳島県鳴門市瀬戸町)
- 那賀支店(徳島県那賀郡那賀町)
- 三好支店(徳島県三好郡東みよし町)
- 阿波支店(徳島県阿波市土成町)
- 吉野川支店(徳島県吉野川市鴨島町)
- 海陽支店(徳島県海部郡海陽町)



三好支店



本社新館



那賀支店



本社本館

徳島県外の事業所

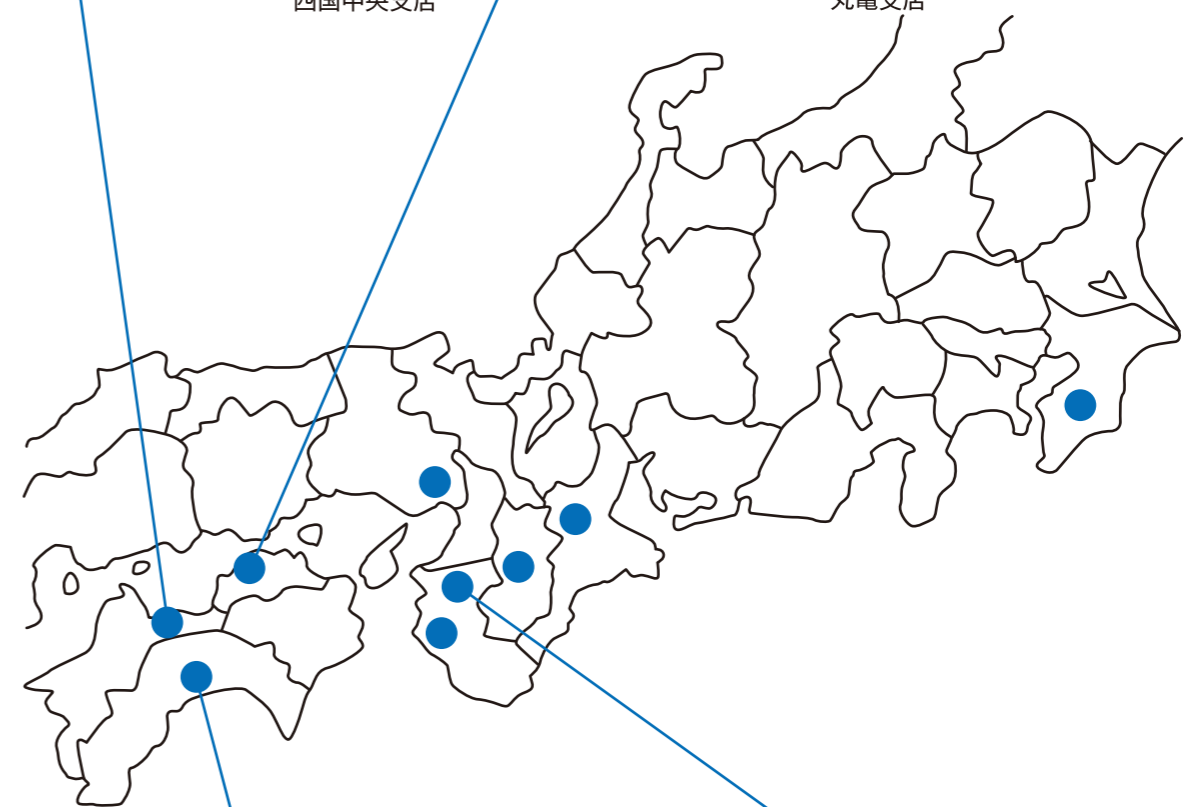
- 千葉支店(千葉県茂原市下永吉)
- 三重支店(三重県伊賀市陽光台)
- 宝塚支店(兵庫県宝塚市御殿山)
- 奈良支店(奈良県奈良市針町)
- 紀和支店(和歌山県岩出市岡田)
- 広川支店(和歌山県有田郡広川町)
- 丸亀支店(香川県丸亀市富士見町)
- 四国中央支店(愛媛県四国中央市土居町)
- 高知支店(高知県香美市香北町)



四国中央支店



丸亀支店



高知支店



紀和支店

会社概要

- 商号:株式会社 松本コンサルタント
- 設立:昭和46(1971)年5月
- 代表者:代表取締役 松本 祐一
- 資本金:1,000万円
- 従業員数:202名(男性169名、女性33名)
- 事業内容:国土調査(地籍測量・一筆地調査)
GIS関連ソフト開発および販売
GISデータ構築およびデータ処理
建設コンサルタント
補償コンサルタント
測量・調査全般
地質調査
- 売上高:2017年9月期 21.5億
2018年9月期 22億
2019年9月期 22.5億
- 登録:建設コンサルタント [建27第7096号]
測量業者 [第(12)ー3976号]
補償コンサルタント [補01第2637号]
地質調査業者 [質28第2328号]
松本一級建築士事務所 [第51041号]
- 認定:ISO9001:2015 [17196IQ(JP)]
ISO/IEC27001:2013 [17196IIS(JP)]
プライバシーマーク [10840094]
特例認定マーク(プラチナくるみんマーク)
献血サポーター
徳島県企業BCP認証 [認定番号 商特H27-0001]
エコアクション21認証 [認証・登録番号 0011428]
徳島市防災協力事業所制度 登録
高知県南海トラフ地震優良取組事業所認定

採用情報

■募集職種:測量技術者、設計技術者、情報処理技術者、営業

■勤務地:測量技術者/徳島(本社、那賀町、東みよし町)、高知(香美市)、香川(丸亀市)、愛媛(四国中央市)、和歌山(岩出市、広川町)、奈良(奈良市)、千葉(茂原市)
情報処理技術者/徳島(本社)のみ
設計技術者/徳島(本社)のみ
営業/徳島(本社)のみ

■採用人員:10名程度

- 初任給(基本給):大学院卒/月給 199,800円 大学卒/月給 191,000円 高専卒/月給 177,500円
専門学校卒/月給 173,200円 高校卒/月給 164,600円
- 諸手当 :時間外手当、資格手当、家族手当、通勤手当、住宅手当 他
- 昇給 :年1回(4月)
- 賞与 :年2回(7月、12月)
- 勤務時間 :8:00~17:30(休憩1時間30分)
- 休日 :日曜、祝日、その他会社が特に定める日(年間休日105日) 変形労働時間制により土曜日出勤あり
- 休暇 :年末年始休暇、夏季休暇、年次有給休暇、特別休暇、産前・産後休暇、育児・介護休業
- 保険 :各種社会保険完備
- 福利厚生 :慰安旅行、ボウリング大会、自己啓発講座(英会話・フィットネス)、リゾートホテル契約など
- 採用実績校 :徳島大学、高知大学、奈良大学、岡山理科大学、高知工科大学、広島工業大学、近畿大学、香川大学
愛媛大学、和歌山大学、大阪工業大学、日本大学、群馬大学、駒澤大学、北里大学、東洋大学、
徳島文理大学、四国大学、鳥取大学、山口大学、岡山県立大学、千葉工業大学、東海大学、
神奈川工科大学、松山大学、京都産業大学、立命館大学、甲南大学、京都大学、神戸大学、広島大学
岩手大学、関西学院大学、阿南工業高等専門学校、近畿測量専門学校 他

※このパンフレットは徳島大学の学生の協力のもと制作しました